

扶桑菅廟最初

防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古采名「酒垂山」からとったものです

佐加太利

令和4年
秋冬号

110号



目次

1 点描／合格はちまき洗濯

2 巻頭言

5・4・3 御神忌1125年
式年大祭始動

7・6 天神様の御座す山と
毛利氏の城づくり

8 平成14年御神忌
1100年式年大祭
（記念事業・奉祝行事を
振り返って）

TOPICS

9 結婚おめでとう
ひたぶる
表参道整備事業

社務所だより

11・10 天神様の夏から秋〜日誌抄〜
3年ぶりの復活行事続々

12 予祝詣・初詣
新春祭事行事



第六巻 9m20cm

第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm



「ある青年が教えてくれたもの」


宮司 鈴木宏明

この秋のある昼下がりに、見知らぬ青年が突然社務所を訪ねてきました。その青年はある大手銀行の社員で、福岡県の高校を卒業後広島大学の大学に進みましたが、実家と大学を往復する道中にある防府天満宮に何故か大変興味をもち、一度はお参りをして神社の人と話をしてみたいと思ったそうです。

はじめは他愛もない話をしていました。会話が進むうち彼から「お祭りは何のためにあるのですか？」と質問を受けました。私は「神社の祭りはイベントの祭りとは違います」と返すように続けました。「神社の祭りの意義には二つの側面があり、ひとつは祭りは人が生きることに對する自然との契約と言えましょう。人は生きるために物を食べます。今でこそスーパーやコンビニに行けば、好きな時に好きな食べものが手に入りますが、昔より農耕を生業にしている日本人にとって、常にすべての自然現象が農作物の出来栄を左右しました。ですから私たちの祖先は祭りを通し、天候をはじめ一木一草一石の万物に稔りを祈り、その収穫に對して感謝の誠を捧げるのです。その意味で『祭りは自然と共に生きる』ことそのものなのです。またもうひとつは『祭りは人々と共に生きる』ということ。生きるために行う祭りの営みの中で、人は地域社会の一員として認められ、アイデンティティーといったらいいの、そこで人として生きる価値を実感できるのです」と。私の下手な説明を理解できたかどうか定かではありませんが、「今度、天満宮の『兄弟わっしょい』裸坊祭にいらっしやい」と勧めると、微かながら彼の顔つきが優しくなつたなど私には感じられました。そして彼は深く頷き「また来ていいですか」と言い残し帰って行きました。

コロナの影響もあり仕事や学校でもリモートが増え、人間関係が希薄になつてしまいました。真正面から喧嘩もできず冗談も通じない空気が蔓延し、自分の居場所さえ見失いそうです。それ故でしょうか、地域の共同体に溶け込みながら自然との対峙を求め、最近では農業にとどまらず林業や漁業に就きたいと地方に移住する若者が増えて、います。

彼も無意識のうち神社に心の潤いを求めていたのかもしれない。彼の来訪が、現代人にとってこそ「神社の祭りは心に豊かさを与えてくれる普遍的な日本人の知恵」なんだとあらためて教えてくれました。

※本ページの天地に掲載した(重文)松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその  の部分を紹介しています。

第六巻 9m20cm

第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm



防府天満宮 御神忌1125年式年大祭 始動

防府天満宮は「心のふるさと」 崇敬会東京支部設立を終えて

崇敬会に入会された方に「私たちは『防府天満宮がいつまでも心のふるさと』であってほしいと願っています」とお伝えすると、よく「心のふるさとって何でしょうか？」という問いを返されます。そんなとき天満宮では「心のふるさととは、人生を彩る『隠し味』のようなものです。料理に例えるならば、どんなに良い食材を使った料理でも最後の『隠し味』があつてこそ更に素晴らしい料理になるように、もし、あの日あの頃の防府天満宮が心に刻まれていれば、それは満ち足りた暮らしがより良くなる『心のふるさと』といえるのではないのでしょうか」とお答えします。

令和四年十月十五日、六本木ヒルズハリウッドビューティープラザでの東京支部設立の日、都内在住で二児の母というご婦人が参加下さいました。彼女は交流会のスピーチで「今日この日まで歩いてこれたのも天神さまのお蔭です。防府に住んでいた頃はいつも天神さまにお参りさせて頂いていました」と述べられ、更に

「今日は本当に一人で参加して良いのだろうか、と不安な気持ちの中参加させて頂きました」とも仰いました。



▲奉告祭「天神の舞」神舞の奉奏

「今日のご婦人は、日頃、家族四人で幸せなご家庭を築いておられるようですが、この度の支部設立のご案内を目にされた時、彼女の心の中にある人・空気・匂いなどのふるさとの記憶と防府天満宮の存在が人生の『隠し味』となり、今の家庭や家族がより素晴らしい存在に感じられたのではないのでしょうか。」



◀交流会

東京支部設立

令和四年

十月十五日(土)

十四時

於：六本木ヒルズ

ハリウッドビューティープラザ

(五十七名出席)

一、奉告祭

式次第

- ・ 一同一礼
- ・ 修祓
- ・ 降神の儀
- ・ 献饌
- ・ 宮司祝詞奏上
- ・ 「天神の舞」奉奏
- ・ 宮司玉串奉奠
- ・ 参列者玉串奉奠
- ・ 撤饌
- ・ 昇神の儀
- ・ 一同一礼

二、設立総会

一、講演会

講師

(学)メイ・ウシヤマ学園

理事長 山中祥弘 先生

二、交流会

新規会員紹介

令和四年四月二十八日以降入会の方々です。(敬称略)

特別法人会員
(株) きりとりタルサポート
防府市高井

法人会員
パルク24(株)
会員マーケティング本部
タイムスベイ推進部

(株) 都屋
桑田醤油(有) 福岡県福岡市
防府市松崎町

特別会員

綱川智久 東京都港区
小谷野正道 埼玉県加須市
山崎哲也 千葉県千葉市
藤田三保子 東京都練馬区
藤田恵理子 東京都世田谷区
デユプロ(株) 山口営業所
山口市

津村文代 宇部市北琴芝

家族会員
村松大誌 東京都町田市
藤尾有吾 神奈川県横浜市
間尾有士 防府市真尾
金澤学 防府市新田
西村泰顕 防府市栗原
浦川礼子 防府市津

岡俊明 防府市緑町
長岡大作 防府市上野
神徳孝子 防府市上天神町
内山芳雄 防府市中山
小田憲和 千葉県千葉市

個人会員
小河原正彦 周南市清水
荒川祐二 防府市華城中央
平野俊二 東京都渋谷区
家中勉 東京都墨田区
大川芳恵 東京都品川区
斎藤みゆ子 千葉県市原市
藤本豊 神奈川県横浜市
高橋一敏 神奈川県横浜市
高橋和弘 防府市今住町
片山香緒里 防府市浜方
陽捷行 防府市北區
齊藤武晴 周南市扇町
松本房子 周南市平井
前田晋輔 周南市政所
森本寛之 広島県東広島市
森重保彦 防府市富海

※崇敬会入会をご希望の方は、同封の入会案内を御覧の上、お申込み頂きますようお願いいたします。



12の記念事業紹介

一、造営事業

❁ 参集殿改修 令和4年11月完遂

この改修ではエレベーター新設、トイレ等改修、結婚式控え室として対応できる機能を持たせることを中心に計画します。

❁ 大石段の改修

大石段の安全対策と57段の顕彰。57段は道真公が防府に来られた時の年齢に合わせたとの説もあり、57段を道真公の人生に見立てその歳毎の活躍を顕彰します。

❁ 表参道の整備事業並びにバス駐車場の移動

長年バス駐車場として利用してきた広場ですが、安全面を考え駐車場機能を移動(前小路会館横広場)し、従来の広場には御由緒板などを設置して参拝者に安全でより快適な空間、憩いの広場にします。

❁ 社殿(楼門・回廊)の塗替え

朱の楼門は防府天満宮の象徴ともいえる建物で、すでに鎌倉時代の「松崎天神縁起絵巻」の中にも描かれています。



イメージ

二、教化教学事業

❁ 勝間の浦(お旅所)の整備並びに一本松神社の復興「一万人裸坊奉仕を目指して」

御神幸祭は防府天満宮創建の根幹をなす神事です。その御神幸祭の聖地とも言える道真公が御着船になられた勝間の浦は天満宮にとって非常に重要な土地です。勝間の浦を整備することにより御神幸祭の意義をより広く周知頂けるものと考えています。その結果1150年大祭には10万人の裸坊が乱舞する御神幸祭を夢見ています。

❁ 記念誌並びに「新・防府天満宮考録」の編纂

新たな知見と考察を加えた「新・防府天満宮考録」を編纂します。



三、文化事業

❁ 松崎天神縁起絵巻「国宝への道」プロジェクト

防府天満宮の創建を示す「松崎天神縁起絵巻」国の重要文化財が国宝になることを夢みて、絵巻(第6巻)の内容が鎌倉時代の天満宮の繁栄の姿と道真公がご覧になった防府の地形が描かれていることを実証していくプロジェクトです。

❁ (過去の)「手鑑」の保存修理

過去八百年大祭、九百年大祭、千年大祭、直近では御神忌千百年式年大祭で奉納されました。中でも九百年大祭のものと千年大祭のものは傷みもひどく、いち早い修理が必要と専門家の指摘を受けています。

❁ 「松崎天神縁起絵巻」室町本の修理保存

室町本の修理を足掛かりに「国宝への道」への歩みを進めたいと考えています。

四、奉賛事業

❁ 崇敬会の拡充(東京支部設立)令和4年10月15日設立

防府天満宮崇敬会は御神忌千百年式年大祭を記念し設立されました。この度1125年大祭を迎えるにあたり強化したいと考えています。(故)メイ牛山女史とのご縁でメイウシヤマ学園が事務局をお引き受けいただけることとなりました。

❁ 賽銭箱の改修

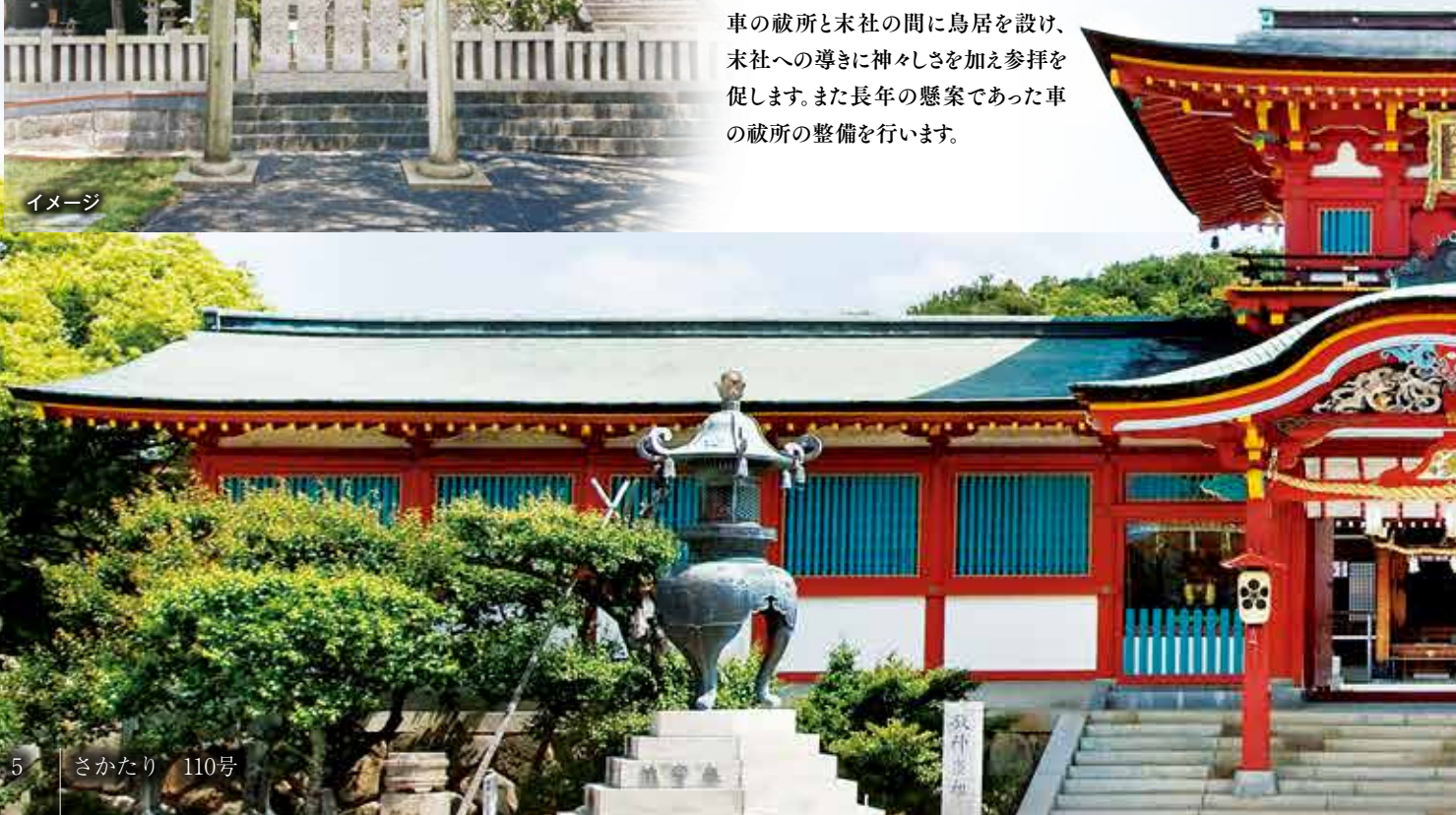
賽銭箱の機能を失うことなく正面からの入場を可能にする改修をします。

❁ 車の祓所並びに末社周辺の整備と寄付者芳名碑(鳥居含む)建立

車の祓所と末社の間に鳥居を設け、末社への導きに神々しさを加え参拝を促します。また長年の懸案であった車の祓所の整備を行います。



イメージ



天神様の御座す山と 毛利氏の城づくり

毛利博物館館長 柴原直樹



防府天満宮創建の由緒は、鎌倉時代末期に成立した『松崎天神縁起絵巻』に、細かく記されています。それによると、九州へ向かう菅原道真公が、途中勝間の浦にたどり着き、そこで一夜を過ごした時、この地にとどまりたいと願います。その思いは強く、死後、海上と酒垂の山（天神山のこと）に光明と瑞雲が立ちこめたことから、時の国司が宝殿を建立したのが、天満宮の始まりだということです。

この記述には、防府天満宮という神社を、歴史的に考察する上で、いくつかの重要な観点が示されていると思われれます。

その一つは、道真公がたどり着いたのが、勝間の浦だという点と、没後の光明も海から差し込んだ点です。これは、天満宮が、そもそも瀬戸内海と深い関係をもつことを示唆しているように思われます。

もう一つは、光明が差し、瑞雲たなびいたのが、現在社殿のある酒垂の山だということです。この山に瑞兆が現れたというのは、酒垂山そのものに、何がしかの力がみなぎり、神を祀るにふさわしい場所であったと想定されるのです。

そのように考えて、今一度海と酒垂山（天神山）に目をこらすと、まず感じることは、山容の美しさです。ひとさわ頂点がはつきりし、なだらかに山裾が広がる姿は、特に西南の海側から眺めると、富士に通じる美しさだと思われれます。

防府は、古代以来、田島や向島・桑山という島々に抱かれた穏やかな内海に、大河である佐波川が合流することで、川と海の結節点として栄えてきた地です。ただ佐波川の流れは複雑で、かつ現在の防府平野を作るほどに、多くの土砂を堆積させましたから、この遠浅の海は、たやすく航海でき



▲天満宮創建の歴史を語る重文「松崎天神縁起絵巻」



▲海側（桑山）から見た天神山の山容



▲桑山築城を断念した毛利輝元（毛利博物館蔵）

る海ではなかったはずですが、
 そのようなとき、航海する人々の目印となった
 のが、山容の美しい天神山だったのでしよう。航
 海の安全を保証する山として、古くからこの地域
 の人々の崇敬を集めていた山に、菅公の御魂も惹
 かれて鎮座されたのだらうと思われるのです。
 このように、社殿と山は、密接なものでした。
 もともと宮市には、川と海をつなぐ津があったよ
 うです。山の麓の迫戸あたりで、もともと川が海
 に流れ出ていたのでしょう。川から海へと、ある
 いは逆に船を乗り換える際、船人たちは、天神様
 の加護に対し、社殿と山に向けて、ここまでの成
 功の感謝と、行く先の無事を祈願したのだと思わ
 れます。
 こうした願いをもつ人々が社頭に集まることで、
 天満宮の門前は栄え、その様子を生き生きと描か
 せたのが、冒頭の縁起絵巻だったのでしよう。
 時代は下って江戸時代初期、防長に移った毛利
 輝元は、桑山に築城を計画しました。しかしこれは、
 砂山で石垣を築くことが難しく、断念したようで

す。もし天神山であれば、眼下に防府平野を見下
 るす、毛利氏の本拠にふさわしい城を築くことも
 できたでしょうが、輝元・秀就親子も、家臣たち
 もそうした考えはなかったようです。
 天満宮は、毛利氏が防長に攻め込んだ際、だれ
 よりも早く味方を表明し、毛利勢に加護を与えた、
 由緒ある神社です。移封後も鳥居を寄進するなど、
 毛利氏は、国主として天満宮に感謝を示していま
 す。その天満宮を、霊的な山から遷座させるなど、
 当時の毛利氏には、思いもよらないことだったの
 でしょう。
 これは、毛利氏の本拠、郡山を信仰の対象とし
 ていた山岳寺院である満願寺が、毛利氏の移動と
 ともに、吉田から萩、防府へと移動を繰り返した
 点と対照的です。防府天満宮と、天神山との強い
 結びつきは、歴史的にも興味深い現象なのです。

柴原直樹プロフィール

昭和44年広島県生まれ専門は日本中世史、
 戦国大名毛利氏の研究。平成9年より毛利
 博物館学芸員、令和2年より同館長。



▲毛利秀就が寄進した鳥居（県指定有形文化財）

平成14年御神忌1100年式年大祭
 ～記念事業・奉祝行事を振り返って～

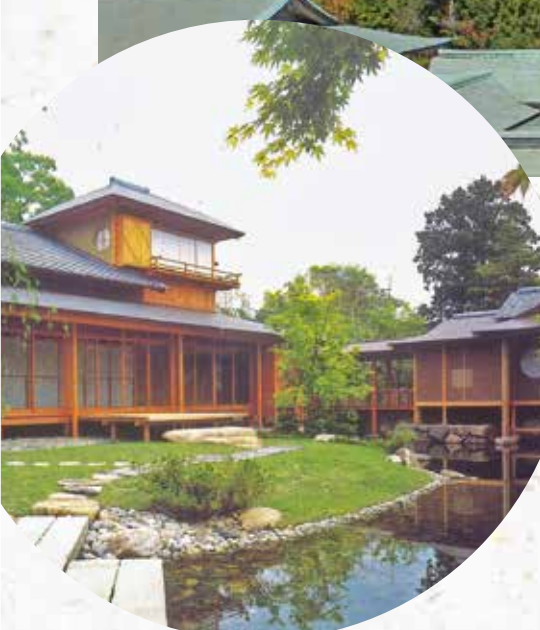
鎮守の杜造成



第一次事業
 金魚12尾完全復元



第一次事業
 茶室「芳松庵」建設



人間国室
 四世茂山千作氏狂言奉納



人間国室(総合認定)
 関根祥六氏能奉納



第67代横綱武蔵丸
 奉納土俵入



平成の手鑑
 ～1100年ごとの
 記念事業～

茶道裏千家鵬雲斎千宗室
 御家元献茶式



1125年式年大祭も意気深い大祭となるようご協力を宜しくお願い致します



TOPICS

令和5年節分祭牛替神事が進化します!

- ① 丸久 (防府市内)と牛替神事コラボ
「子牛券付牛替神事チラシ(左)を店舗配布」
- ② 正月昇殿祈願者授とお茶室拝観券に
番号券を付与
- ③ 福豆 (番号券付) をインターネットで頒布
- ④ 「お宝くじ」の新設
- ⑤ 「私の記念日」の景品枠新設
- ⑥ 4、5日の景品交換時間を20時まで延長



その他、頒布や景品向上に努めて参ります。
節分祭牛替神事については同封のチラシをご覧ください。

ひたぶる

昨年二人目を授かり喜んで
いるとなんと双子でした。驚
きと共に頑張っていたこうと意
気込みました。

しかし実際に育ててみると
想像以上に大変で、特に二歳
の長男の面倒をみながら双子
の世話をするのは、どうして
も大人二人必要なので、忙し
い日々が続いています。この
ような生活の中での子育ては
大変だと感じていますが、子
供が居ない昔に戻りたいとは

思いません。
それは子供という存在が、
私達の血を受け継いだ人間で
あり、それが目の前に居るこ
とへの不思議さと充実感、成
長を見守ることが出来る喜び、
そしてなによりも妻と共に家
族のぬくもりというのを与え
てくれているからです。

今後も妻と奮闘しながら賑
やかで幸せな日々を過ごせる
よう願っています。

権禰宜 越智宣彰

ご結婚おめでとう

お二人の末永いお幸せをお祈り致します

12月25日	11月19日	10月22日	6月5日	令和4年(神社奉式分/敬称略)
24日	5日	16日	5日	
3日	3日	10日	11日	
小林 河野	末延 松田	鹿島 出口	森王 純一	白松 源樹
牛島 友樹	木原 拓也	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
功樹・美弥香	加藤 慎也	鹿島 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	岡本 謙也	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
	網本 修司	佐田 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	深海 秀和	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
	吉田 孝徳	佐田 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	大村 路広	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
	松本 一弥	佐田 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	佐田 光	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
	鹿島 友明	佐田 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	出口 泰史	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜
	森王 純一	佐田 友明	森王 純一	源樹・満里亜
	白松 源樹	佐田 友明	豊島 宏樹	源樹・満里亜

※ 神前結婚式のお申込みは随時受け付けておりますので、
社務所へお問い合わせ下さい。
(TEL0835-23-7700)

表参道整備事業

予てより門前町に賑わいの創出をめざし進め
ております表参道整備事業。
今秋、天とて屋2号館に「エース造花ポップ
センター天満宮表参道店」がオープン致しま
した。これからも防府の街づくりと観光の一
助になるよう進めて参ります。

◀店内



高品質の造花を使用したアレンジメントやブーケ、
七五三の髪飾りなど1本からでも販売しています。
営業日時：月～金曜日 10：00～15：00
TEL 0835-28-3133



▲外観

●大鳥居近くにもキムチ
とらーめんの専門店
「仁紡(じんぼう)」が
オープン。ご賞味あれ!
営業時間
11：00～14：30
定休日 毎週月曜日



社務所だより 天神様の夏から秋

マスクなど感染対策をして
3年ぶりの復活行事続々

七夕まつり



御誕辰祭



花神子社参式



大行司役
藤井 啓文氏



小行司役
清水 正光氏



花神子役
國貞 杏さん

(御神幸祭の無事成功を祈る祭)

日誌抄

(令和四年六月〜十二月)

28日	25日	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1														
お頼み会	※月次茶会	祖霊殿月次祭・まほろばかふえ、職場体験防府西高校生1名	正式参拝	山口県神社庁神職養成講習会直階講習受講生36名	高川学園サッカー部境内清湯奉仕	山口県神子社神職養成講習会中国五県大会19名様正式参拝	天て屋「豆腐」エース造花ポップセンター開店	式年祭準備委員会広報部会	高川学園サッカー部境内清湯奉仕	山口県神子社神職養成講習会直階講習受講生36名	祖霊殿月次祭・まほろばかふえ、職場体験防府西高校生1名	※月次茶会	お頼み会	28日	25日	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
お頼み会	※月次茶会	祖霊殿月次祭・まほろばかふえ、職場体験防府西高校生1名	正式参拝	山口県神子社神職養成講習会直階講習受講生36名	高川学園サッカー部境内清湯奉仕	山口県神子社神職養成講習会中国五県大会19名様正式参拝	天て屋「豆腐」エース造花ポップセンター開店	式年祭準備委員会広報部会	高川学園サッカー部境内清湯奉仕	山口県神子社神職養成講習会直階講習受講生36名	祖霊殿月次祭・まほろばかふえ、職場体験防府西高校生1名	※月次茶会	お頼み会	28日	25日	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

新総代のご紹介

(敬称略)

氏子総代

兄部 純一(二行事区)
御手洗 豊(五行事区)
国本 泰明(九行事区)

九月二十三日付
九月二十三日付
十一月 七日付

天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

清掃奉仕

ご奉仕ありがとうございました。

- 7月23日 松崎・佐波両地区子供会400名様
- 8月6日 マツダ(株)・(株)ブリヂストン・山口短期大学・防府西高・YIC看護福祉専門学校
- 8月23日他 高川学園サッカー部様
- 10月1日 松崎地区老人クラブ30名様
- 10月16日 御旅所清掃勝間警固町有志様
- 11月27日 裸坊奉仕会様
- 11月28日 防府街商組合様

奉納品

ご奉納ありがとうございました。



▲ 10月17日
「四神」書作品 山田梓江様
(作品右から青龍・白虎・朱雀・玄武)

- 10月1日 新米30キロ (有)KOC 稲葉豊美様
- 10月3日 笑顔米15キロ (有)スナハラ様
- 11月1日 幸せますコシヒカリ90キロ 丸久(株)様
- 11月17日 神米イセヒカリ30キロ(米俵) 佐伯康男様
- 11月22日 新米一俵 内山芳雄様
- 11月24日 合格応援米105キロ 山口農協直販(株)様
- 12月5日 純米酒新酒新嘗祭「貴」6升(株)永山本家酒造場様
- 12月15日 千支の御柱(卯) 林隆雄様
- 新米 全農連山口米穀事業所様、ライスフレンド(株)様

世界的太鼓独奏者

はやし えい てつ

林英哲氏奉納演奏

秋の穏かな日差しが差し込んだ午後、林氏は御神前とご参拝の方々に一札。その凛とした美しい所作、七〇歳とは思えない鍛え抜かれた肉体から振り下ろされる華麗な撥擲き。その素晴らしい演奏に参拝者からは万雷の拍手が送られました。

これは、文化庁によるコロナ禍からの文化芸術活動再興支援の一環で、「管弦楽アンサンブルと和太鼓コラボレーション」と題され、山口県内十二カ所で行われました。その中で防府市の音楽のまち創造プロデュース・チェロ奏者田中雅弘氏の招きで実現した唯一の奉納演奏会でした。奉納演奏後、林氏と田中氏の挨拶の中で「この演奏会があると五年と迫る御神忌一一二五年大祭への励みとなれば」と天満宮へエールを送られました。



写真提供／防府市地域交流センター(アスビラート)

31	25	24	20	18	15	8	7	6	10	5	2	28	27	26	25	24	21	20	19	18	17	15	13	12	11	7	6	3	1	31	30	25	23	20	19	18	17	16	15	12	9	7	5	3	2	28	27	25	23	22	19	16	11	10	5	4	3	9
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日		

式典保存委員会、お手廻り保存会宣言式
 鈴虫放生祭
 お籤上げ神事
 山口県氏子青年会、青年神職会20名様合同正式参拝
 防府天満宮杯将棋名人戦
 神道家まはろは会研修旅行13名(豊田町豊田神社)
 本日予定の御分霊奉送式が台風14号襲来の為延期
 尚、祖霊殿北側塀が崩壊する等被害あり
 式年祭準備委員会正副部長会談
 秋季祖霊大祭(大尊坊、海軍少年電信兵第六十八期会慰霊祭、総代就任奉告祭)
 秋祭、月次茶会表流華校会奉仕、花神子社参式
 役付児童説明会
 臨時役員会
 社愛宕石権現祭(※御神幸)
 御分霊奉送式・大小行司役宅祭
 栄町、共進町、新町老人クラブ清掃奉仕
 印章祭
 第三回式年祭準備委員会、千歳鉛奉製始め
 氏子対抗ゴルフ大会第32回勝牛杯、美容師組合花
 神子勉強会
 裸坊特別懇話会
 花神子社参式、同奉祀池坊奉納花展、奉祝茶会表
 流山本百次会奉仕
 裸坊安全協議会
 崇敬会東京支部設立奉告祭並設立総会(於六本木
 ヒルズ東京ハリウッドヒューテイルプラザ)
 御神幸祭供養委員会総会、御旅所草刈奉仕
 表参道にラメン仁坊開設
 敬神婦人会研修旅行18名参加(萩市武氏八幡宮他)
 役員総代研修旅行17名参加(萩市武氏八幡宮他)
 毛利家秋祭、氏子青年部若梅会注連縄奉製始
 祖霊殿月次祭・まほろばかふえ※月次茶会
 巫女神楽楽研講師先崎徳子先生
 山口県神社庁防府支部大麻頒布始祭(於参集殿)
 萩市小川ささえ隊32名様正式参拝
 ※愛情防府フリーマーケット・天神芸術村・書道
 パフォーマンス
**太鼓奏者林英哲氏・チェロ奏者田中雅弘氏奉
 納演奏会**
 第六十七回防府菊花展(於楼門前庭)
 防飛二期生の碑慰霊祭
 第六十六回奉納菊花展表彰式
 みどり保育園園児24名七五三祈願、総代就任奉告祭
 氏子青年部若梅会注連縄奉製作業
第四十回防府天満宮杯少年野球大会
 参集殿改修工事終了引渡し
 七五三
 注連縄取付作業氏子青年部若梅会奉仕、大蔵立て
 おはけ
 大小行司夜々詣
 すこいぞ防府イベント酒垂神社日本酒まつり他
 天神おんな神輿説明会
 菊花切分け無料配布
 大蔵、蔵出し
 御神幸祭前夜祭
 御神幸祭前夜祭
御神幸祭(三年ぶりの裸坊奉仕)
 御神幸祭養養祭・神上式、天神おんな神輿・防府邦
 楽舞踊連盟奉納邦楽演奏会(いずれも三年ぶり)
 蔵納め
 破魔矢奉製始
 責任役員会、式年祭準備委員会全体会議
 例祭併せ神宮大麻頒布始祭、節分参与会、干支の
 御柱奉納
 大蔵詞浄書会
 福岡県太宰府市鹿門神社総代会7名正式参拝
 福岡県朝倉市須賀神社氏子総代会理事会10名様正
 式参拝
 合格はちまき洗濯
 正月臨時巫女奉仕者説明会
 煤払い敬神婦人会奉仕、門松設置
 天神おんな神輿写真コンテスト表彰式
 古絵馬焼納神事、祖霊殿月次祭・まほろばかふえ
 防府天満宮予祝詣
 年越天祓式

第四十回防府天満宮杯 少年野球大会開催

この度、四十回という節目を迎えるにあたり優勝旗が新調されました。長年にわたり大会を支えてこられた関係者の皆様に感謝申し上げます。今大会は県下三十二チームが熱戦を繰り広げました。結果は次の通り。

- 優勝 椿西スポーツ少年団(萩)
- 準優勝 旗岡スポーツ少年団(下松)
- 第三位 右田少年スポーツ少年団(防府)

佐波・小野ベースボール少年団(防府)



▲ 新調された優勝旗(左)



▲ 宮司を前に選手宣誓

第一〇一九回御神幸祭 (裸坊祭)



こころ新たに年の始めは天神様へ

初詣のご案内



旧年の感謝を捧げるとともに、
新年の幸せを願い
天神様へご参拝頂きますよう
ご案内申し上げます。

●交通規制について●

元日から3日まで当宮周辺は交通規制があります。詳細は同封の「防府天満宮初詣おもてなしMAP」、もしくは下記QRコードを携帯電話スマートフォンカメラで読み取ってご確認ください。



防府天満宮は
令和4年12月25日(日)からお正月

よ 予 祝 詣 の ご 案内

～下記の日程よりお正月の縁起物・破魔矢・千支の置物などの頒布しております～

25日 (日)	26日 (月)	27日 (火)	28日 (水)	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	元日 (日)	2日 (月)	3日 (火)
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	-----------

令和4年予祝詣期間

令和5年初詣

〈お札・お守〉の郵送お申込について

同封の振込用紙(青色)の通信欄にお札・お守の種類と必要体数をご明記の上、初穂料に送料手数料500円を添えお申込み下さい。尚、破魔矢・熊手等縁起物の送料は着払いとさせていただきます。※詳しくはHPを御覧下さい。

〈ご祈願祭〉の郵送お申込について

同封の『新春に祈りを込めて』及び『厄除け星祭』の御神楽受付書と振込用紙(赤色)をご利用の上、お申込み下さい。尚、当宮HP上でも受付けております。※ご祈願初穂料は5,000円以上とさせていただきます。

令和5年 新春の祭事行事

歳旦祭

一月一日 午前三時より

書初め・梅茶接待(無料)於参集殿

一月一日 十三時～十六時

二・三日両日共 九時～十六時

天神おんな神輿写真コンテスト

於参集殿

一月一日～八日 九時～十六時

※一日は十三時より



▲新始式 1月5日 午後3時より

七草粥の会

一月七日 午前六時三十分より

※お破い・大破詞奏上は御社殿、七草粥の会は参集殿二階にて行います。

弓始式

一月九日 午後一時より

貞宮遙拜式

一月十一日 午前十時より

節分祭牛替神事

二月二・三日

梅まつり

二月二十～三月六日

※節分祭牛替神事・梅まつりは同封のチラシをご覧ください。

さかたり第110号
令和4年12月25日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter

Instagram

Times